

## 山形イブニングロータリークラブ定款

### 第1条 定義

本条の語句は、本定款で使われる場合、他に明確に規定されない限り、次の意味を持つものとする。

1. 理事会：本クラブの理事会
2. 細 則：本クラブの細則
3. 理 事：本クラブの理事
4. 会 員：名誉会員以外の本クラブ会員
5. R I : 国際ロータリー
6. 書 面：文書化が可能なコミュニケーション・通信手段は問わない
7. 年 度：7月1日に始まる12ヵ月間

### 第2条 名称

本会の名称は、山形イブニングロータリークラブとする。(国際ロータリー加盟会員)

### 第3条 クラブの目的

本クラブの目的は、次の通りである。

- (a)「ロータリーの目的」の達成を目指すこと
  - (b)五大奉仕部門に基づいて成果あふれる奉仕プロジェクトを実施すること
  - (c)会員増強を通じてロータリーの発展に寄与すること
  - (d)ロータリー財団を支援すること
  - (e)クラブレベルを超えたリーダーを育成すること
- (※訳注：「第3条 クラブの目的」の原文は「Article 3 Purposes」ですが、既存の第5条「目的」〔Object〕と区別するため、上記の訳では「クラブの」が補足されています。)

### 第4条 クラブの所在地域

本クラブの所在地域は、次の通りとする。山形市内及びその周辺地域。

### 第5条 目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人としてまた事業及び社会生活において日々奉仕の理念

を実践すること

第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて国際理解、親善、平和を推進すること

## 第6条 五大奉仕部門

ロータリーの五大奉仕部門は、本ロータリークラブの活動の哲学的及び実際的な基準である。

1. 奉仕の第一部門であるクラブ奉仕は、本クラブの機能を充実させるために、クラブ内で会員が取るべき行動に関わるものである。
2. 奉仕の第二部門である職業奉仕は、事業及び専門職務の道德水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うこと、そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる。
3. 奉仕の第三部門である社会奉仕は、クラブの所在地域または行政区域内に居住する人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら、会員が行う様々な取り組みから成るものである。
4. 奉仕の第四部門である国際奉仕は、書物などを読むことや通信を通じて、さらには、他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて他国の人々とその文化や習慣、功績、願い、問題に対する認識を培うことによって、国際理解、親善、平和を推進するために、会員が行う活動から成るものである。
5. 奉仕の第五部門である青少年奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクト及び国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化をもたらされることを認識するものである。

## 第7条 会合

### 第1節- 例会

- (a) 日及び時間。 本クラブは、細則に定められた日及び時間に定期的週の会合を開くものとする。
- (b) 会合の方法。 例会は直接顔を合わせるか、電話で、オンラインで、またはオンラインの参加型の活動を通じて開催することができる。参加型の会合は、参加型の活動が掲載される日に開かれるとみなされるものとする。
- (c) 会合の変更。 正当な理由がある場合、理事会は例会を前回から次回の例会の間のいずれかの日、定例日の他の時間、または他の場所に変更することができる。

- (d) 取り消し。 例会日が以下にあたる場合理事会は、例会を取りやめることができる。
- (1) 祝日にあたる場合、またはその週に祝日が含まれる場合。
  - (2) 会員の葬儀の場合。
  - (3) 全地域社会にわたる流行病もしくは災害が発生した場合。
  - (4) 地域社会での武力紛争がある場合。
  - (5) 理事会は、ここに列記されていない理由であっても、1年に4回まで例会を取りやめることができるが、3回を超えて続けて例会を取りやめてはならない。
- (e) 例外。 細則には本節に従わない規定を含めることができる。ただし、クラブは少なくとも月2回例会を行わなければならない。

## 第2節- 年次総会

役員を選挙するため、現年度の収入と支出を含む中間報告および前年度の財務報告を発表するための年次総会は、細則の定めるところに従い、毎年12月31日までに開催されるものとする。

## 第3節- 理事会の会合

理事会のすべての会合について書面による議事録が提供されるべきである。この議事録は当該会合後60日以内に全会員が入手できるようにすべきである。

# 第8条 会員身分

## 第1節 全般的資格条件

本クラブは、善良さ、高潔さ、リーダーシップを身をもって示し、事業、専門職務および、または地域社会でよい評判を受けており、地域社会および、または世界において奉仕する意欲のある成人によって構成されるものとする。

## 第2節 種類

本クラブの会員の種類は、正会員および名誉会員の2種類とする。本条第6節に従って、クラブは他の会員の種類を設けることができる。これらの会員は正会員または名誉会員としてRIに報告される。

## 第3節 正会員

RI定款第5条第2節の資格条件を有するものは、クラブの正会員に選ぶことができる。

## 第4節 二重会員の禁止

いかなる会員も同時に本クラブと本クラブの衛星クラブ以外の別のクラブに所属することはできない。また、本クラブにおいて名誉会員になることはできない。

## 第5節 名誉会員

本クラブは、理事会が決定した存続期間で名誉会員を選ぶことができる。名誉会員は以下の資格を満たすものとする。

- (a) 会費の納入を免除される
- (b) 投票権を持たない

- (c) クラブのいかなる役職にも就かない
- (d) 職業分類を保持しない
- (e) 本クラブのあらゆる会合に出席することができ、そのほかにクラブのあらゆる特典を享受することができるが、他のクラブにおいてはいかなる権利または特典も持たないものとする。ただし、ロータリアンの来賓としてではなく訪問することはできる。

## 第6節 例外

細則には、第8条第2節および第4～5節に従わない規定を含めることができる。

### 第7節 公職に就いている人

一定の任期の間選挙または任命によって公職にあるものは、当該公職の職業分類の下に本クラブの正会員となる資格を有しないものとする。この制約は、学校、大学その他の教育施設に奉職する者または裁判官に選挙もしくは任命されたものには適用されない。会員で一定の任期をもった公職

に選挙または任命された者は、その公職に在任中、以前の職業分類の下に、引き続き会員としての身分を保持することができる。

### 第8節 RIの職員

本クラブは、RIに雇用されている人を会員として保持できる。

## 第9条 クラブの会員構成

### 第1節 一般規定

各会員は、その事業、専門職務、職業、または社会奉仕に従って分類されるものとする。職業分類は会員の会社、企業、団体の主要かつ一般世間が認めている事業活動を示すものか、本人の主要かつまた一般世間が認めている事業または専門職務を示すものか、本人の社会奉仕活動の種類を示すものとする。理事会は、会員が役職、専門職務、または職業を変更する場合、会員の職業分類を修正することができる。

### 第2節 多様なクラブ会員基盤

本クラブの会員基盤は、年齢、性別、および民俗的多様性を含め、地域社会の事業、専門職務、職業、および市民組織の多様性を表すものであるべきである。

## 第10条 出席

### 第1節 一般規定

各会員は本クラブの例会、あるいは衛星クラブの例会に出席し、本クラブの奉仕プロジェクト、行事、およびその他の活動に参加すべきである。会員が、ある例会に出席したものとみなされるには以下の通りである。

- (a) その例会時間の少なくとも60%に直接、電話で、またはオンラインで出席する。
- (b) 会合出席中に不意にその場を去らなければならなくなり、その後退席が妥当であると示す十分な理由をクラブ理事会に提示する。

- (c) クラブのウェブサイトにて例会が掲載されてから 1 週間以内に定例のオンラインの会合または参加型活動に参加する。
- (d) また、以下のような方法で同じ年度に欠席をメイクアップする。
- ① 他のロータリークラブ、仮クラブ、または他のロータリークラブの衛星クラブのいずれかの例会の少なくとも 60% に出席すること。
  - ② 他クラブまたは他クラブの衛星クラブの例会に出席の目的を持って定刻に会場に赴いたとき、当該クラブが定例の時間または場所において例会を開いていなかった場合。
  - ③ 理事会承認のクラブ奉仕プロジェクトまたはクラブが提唱した地域社会の行事や会合に出席すること。
  - ④ 理事会の会合、または理事会が承認した場合、選任された奉仕委員会の会合に出席すること。
  - ⑤ クラブのウェブサイトを通じて、オンラインの会合または参加型活動に参加すること。
  - ⑥ ローターアクトクラブ、インターアクトクラブ、ロータリー地域社会共同隊、ロータリー親睦活動、あるいは仮ローターアクトクラブ、仮インターアクトクラブ、仮ロータリー地域社会共同隊、仮ロータリー親睦活動の例会に出席すること。
  - ⑦ RI 国際大会、規定審議会、国際協議会、ロータリー研究会、RI 理事会または RI 会長の承認を得て召集された会合、合同ゾーン大会、RI 委員会会合、地区大会、地区研修・協議会、RI 理事会の指示のもとに開催された地区会合、ガバナーの指示のもとに開催された地区委員会、または正式に公表されたクラブの都市
  - ⑧ 連合会に出席すること。

## 第 2 節 遠方での勤務中の長期の欠席

会員が長期わたって遠方で業務に従事している場合、会員の所属クラブと転勤先の指定クラブが合意していれば、会員は、転勤先における指定クラブの例会への出席が所属クラブの出席の代わりとなる。

## 第 3 節 その他のロータリー活動による欠席

- (a) 第 1 節(d)-(1)(7)に挙げた会合の 1 つに出席するため、適切な直行日程による往復の途次にある場合。
- (b) 役員または RI 委員会の委員、TRF 管理委員として、ロータリーの職務に携わっている場合。
- (c) ガバナーの特別代表として、新クラブ結成中、ロータリーの職務に携わっている場合。
- (d) RI に雇用されている者が、ロータリーの職務に携わっている場合。
- (e) メイクアップすることができないような僻遠の地で、地区、RI、または TRF の提唱する奉仕プロジェクトに直接かつ積極的に従事している場合。

(f) 理事会が正当に承認したロータリー職務に従事していて、例会に出席できない場合。

#### 第4節 RI 役員の欠席

会員が現役の RI 役員または現役の RI 役員の配偶者/パートナーである場合、出席規定の適用は免除されるものとする。

第5節 出席規定の免除 次のような場合、出席規定の適用は免除されるものとする。

- (a) 理事会は、正当かつ十分な理由、条件、および状況によるものを承認する。このような出席規定の適用の免除は、最長 12 ヶ月間までとする。ただし、健康上の理由、子供の誕生または養子縁組の後、または里親期間中に欠席となる場合は、理事会が当初の 12 ヶ月間を超えて延長することができる。
- (b) 1 つまたは複数のロータリークラブのロータリー歴と会員の年齢の合計が 85 年以上であり、少なくとも 20 年のロータリアン歴があり、出席規定の適用を免除されたい希望を、書面をもってクラブ幹事に通告し理事会が承認した場合。

#### 第6節 出席の記録

本条第5節(a)の下に出席規定の適用を免除された会員がクラブ例会を欠席した場合、その会員と会員の欠席は、出席記録に含まれないものとする。本条第4節または第5節(b)の下に出席規定の適用を免除された会員がクラブ例会に出席した場合、その会員と会員の出席は、本クラブの出席率の算出に使う会員数と出席者数に含まれるものとする。

#### 第7節 例外

細則は、第10条に従わない規定を含めることができる。

### 第11条 理事および役員および委員会

#### 第1節 管理主体

本クラブの管理主体は、細則の定めるところによって構成される理事会とする。

#### 第2節 権限

理事会は全役員および全委員会に対して総括的管理権を持つものとし、正当な理由がある場合は、そのいずれをも罷免することができる。

#### 第3節 理事会による最終決定

クラブのあらゆる事項に関する理事会の決定は最終的なものであって、クラブに対して提訴する以外にはこれを覆す余地はない。しかしながら、会員身分の終結の決定に関して会員は第13条第6節の決定に従って、クラブに提訴するか、調停又は仲裁に訴えることができ

る。このような提訴の場合、提訴の対象となった決定は、理事会が指定した例会において、定足数の出席を得て、その出席会員の3分の2の投票によってのみ覆すことができるものとする。そして、当該例会の少なくとも5日前に、当該提訴の予告が、幹事により各会員に対して与えられていなければならない。もし提訴が行われた場合は、クラブの決定が最終決定となる。

#### 第4節 役員

クラブの役員は、会長、直前会長、会長エレクト、幹事、会計とし、1名または数名の副会長を役員に含めることができ、これら全員を理事会メンバーとする。また、会場監督も役員であるが、細則の定めるところに従って理事会のメンバーとすることができる。クラブ役員は定期的に衛星クラブの例会に出席するものとする。

#### 第5節 役員選挙

##### (a) 会長を除く役員任期。

各役員はクラブ細則の定めるところに従って選挙されるものとする。会長を除き、各役員は選挙された直後の7月1日に就任し、選挙された任期中または後任者がしかるべく選挙されかつ適格となるまで在任するものとする。

##### (b) 会長の任期

会長は、細則の定めるところに従って就任する日の直前18か月以上2年以内に選挙されるものとし、選挙された時点から会長ノミニーを務めるものとする。会長ノミニーは、会長として就任する前の年度の7月1日に、会長エレクトの役職名が与えられるものとする。会長は、7月1日に就任し、1年間、または後任者が然るべく選挙されて適格となるまでその職務に当たるものとする。

##### (c) 資格要件

各役員及び各理事は、いずれも、本クラブの瑕疵なき会員でなければならない。クラブ会長の候補者は、指名に先立つ少なくとも1年間、本クラブの会員であるものとする。ただし、1年未満であっても、当該会員の奉仕がこの要件の趣旨を満たしていると地区ガバナーが判断した場合は例外となる。会長エレクトはガバナーエレクトから特に免除されない限り、会長エレクト研修セミナーと地区研修・協議会に必ず出席しなければならない。免除された場合は、所属クラブによって指名された代理を必ず派遣しなければならない。この代理人は、会長エレクト本人に対し結果報告するものとする。会長エレクトが、ガバナーエレクトからの免除を受けずに、会長エレクト研修セミナーおよび地区研修・協議会に出席しない場合、あるいは、免除されても指定の代理をこれらの会合に派遣しなかった場合、かかる会長エレクトはクラブ会長に就任できないものとする。このようなことが起こった場合、会長エレクト

ト研修セミナーおよび地区研修・協議会、もしくはガバナーエレクトが十分であるとみなした研修に出席した後任者が正式の手続きによって選挙されるまで、現会長が継続してクラブ会長を務めるものとする。

## 第6節 委員会

本クラブは次の委員会を有すべきである。

- ① クラブ管理運営
- ② 会員増強
- ③ 公共イメージ
- ④ ロータリー財団
- ⑤ 奉仕プロジェクト

必要に応じて追加の委員会を任命できる。

## 第12条 会費

すべての会員は、細則の定める年会費を納入するものとする。

## 第13条 会員身分の存続

第1節 期間 会員身分は、以下の定めるところによって終結しない限り、本クラブの存する間存続するものとする。

### 第2節 自動的終結

- (a) 例外。会員が、会員資格条件にかけるようになったとき、会員身分は自動的に終結するものとする。ただし、会員が本クラブの所在地域外、もしくはその周辺地域外に移転するか、引き続きクラブ会員のすべての条件を満たしている場合、理事会は会員が本クラブに留まることを許可する。または、新しい地域社会にあるロータリークラブを訪問して知り合いになってもらうために1年以内の期間に限って、出席義務規定の特別免除を与えることができる。
- (b) 再入会。会員の会員身分が本節(a)項の規定によって終結した場合、終結時におけるその会員の身分が瑕疵なきものであれば、同人は、同じ職業分類または別の職業分類の下に、新たに入会申し込みをすることができる。
- (c) 名誉会員の会員身分の終結。名誉会員の会員身分は延長されない限り、理事会が決定した期間の終了をもって自動的に終結する。理事会はいつでも名誉会員身分を取り消すことができる。

### 第3節 終結 会費不払い

- (a) 手続き。期日後30日以内に会費を納入しない会員に対しては、幹事が、書面をもって催告するものとする。催告後10日以内に会費が納入されなければ、理事会はその裁量によって会員身分を終結することができる。



(b) 復帰。理事会は、元会員が要請し、クラブに対するすべての負債を支払った場合、元会員を会員身分に復帰させることができる。

#### 第4節 終結 欠席

(a)出席率。会員は

①メイクアップを含むクラブ例会または衛星クラブ例会の出席率が少なくとも50%に達しているか、年度の各半期間にクラブのプロジェクト、行事、その他の活動に少なくとも12時間参加しているか、または、バランスの取れた割合でその両方を満たしていなければならない。

②および、年度の各半期に、本クラブまたは衛星クラブの例会総数のうち少なくとも30%に出席、またはクラブのプロジェクト、行事、その他の活動に参加しなければならない(RI理事会によって定義されたガバナー補佐は、この義務を免除されるものとする)。

規定通り出席できない会員は、理事会が正当かつ十分な理由があると認めない限り、会員身分を終結されることがある。

(b)連続欠席。理事会が正当かつ十分な理由があると認めない限り、または第10条第4節もしくは第5節に従う場合を除き、連続4回例会に出席せず、またメイクアップもしていない場合、その欠席が会員身分の終結を要請していると考えることができる。理事会が会員に通知した後、理事会は過半数によって、会員の会員身分を終結することができる。

(c)例外。細則は、第13条第4節に従わない規定を含めることができる。

#### 第5節 終結 その他の理由。

(a) 正当な理由。理事会は、いずれの会員もクラブの会員としての資格条件に欠けるようになった場合、もしくは他に十分と認められる根拠があれば、特にその目的のために招集された理事会の会合において、出席し投票した全理事の3分の2以上の賛成投票によって、その会員身分を終結させることができる。本会合の指針となる原則は、第8条の第1節、「四つのテスト」、およびロータリアンの高い倫理基準とする。

(b) 通知。理事会が本節(a)項の下に決定する前に、当該会員は、少なくとも10日間の予告を書面によって与えられ、理事会に対して書面にて回答する機会を与

(c) えられるものとする。かかる予告の通達は、配達証明便または書留郵便によって、分かっている最新の宛先に送付されるものとする。会員は理事会に出頭して、自分の立場を釈明する権利を持つ。

#### 第6節 会員身分の終結に提訴、調停または仲裁を求める権利。

(a) 通知。幹事は、理事会決定後7日以内に、その理事会の会員身分を終結または保留させる決定を、書面で会員に通知するものとする。その会員は通告後14日以内に、幹事に対する書面をもって、クラブに提訴するか、または調停もし

くは仲裁に訴えるかを通告することができる。調停または仲裁の手続きは第17条に規定される。

(b) 提訴。提訴する場合は、提訴を通告する書面を受理してから21日以内に行われるクラブの例会において、当該聴聞を行うために、理事会はその日取りを決定するものとする。例会およびその例会で行う特別案件について、少なくとも五日間の予告が、書面をもって、全会員宛てに与えられるものとする。提訴が聴聞される場合には、会員のみが出席するものとする。クラブの決定が最終決定であり、当事者すべてに拘束力のあるものとなり、仲裁を要求することはできない。

(c) 調停もしくは仲裁。

調停もしくは仲裁に使用される手続きは第17条に規定された通りである。

(d) 仲裁人または裁定人の決定。

もし仲裁が要求され、仲裁人によって下された決定もしくは、両仲裁人が合意に達しえなかった場合、裁定人による決定が最終であって、当事者すべてに拘束力のあるものとなり、提訴することはできない。

(e) 調停の失敗。

調停を要求したが、調停が失敗した場合、本節(a)項の規定に従い、会員はクラブに提訴するか仲裁に訴えることができる。

第7節 理事会による最終決定。

クラブに対する提訴も行われず、仲裁も要求されなかった場合、理事会の決定は最終決定となるものとする。

第8節 退会。

会員の本クラブからの退会の申し出は会長または幹事宛に書面をもって行い、理事会が受理するものとする。ただし当該会員が本クラブに負債がある場合を除く。

第9節 資産関与権の喪失。いかなる理由にせよ、本クラブの会員身分を終結された者は、本クラブに入会した時点で地元の法律の下でその会員が何らかの権利を得ていた場合、本クラブのいかなる資産またはその他の財産に対しても、あらゆる関与権を喪失するものとする。

第10節 一時保留。本定款のいかなる規定にもかかわらず、理事会の見解において、(a)会員が本定款に従うことを拒否または怠った、あるいは会員としてふさわしくない振舞、またはクラブに害をもたらしような振舞をしたという信憑性のある告発がある場合、および(b)これらの告発が立証された場合、当該会員の会員身分を終結するのに正当な理由となる場合、および(c)当該会員の会員身分に関していかなる措置も取るべきではなく、その結果を待つ間、または理事会が適切と考える措置が最初にとられるべきである場合および、(d)当

該会員の会員身分に対する票決を取ることなく、当該会員の会員身分を一時保留とし、当該会員が例会やその他のクラブ活動への出席や、いかなる役職や任務からも除外することがクラブの最善の利益となる場合、理事会はその3分の2以上の賛成票によって、理事会の決定する妥当な期間(ただし最大90日間)と理事会が定めたその他の条件に従い、会員の会員身分を一時保留することができる。一時保留とされた会員は、本条第6節に定められる通り、一時保留について提訴する、または調停や仲裁を求めることができる。一時保留期間中、当該会員は出席要件を免除されるものとする。理事会は、一時保留期間が終了する前に、一時保留となっているロータリアンの会員身分を終結する手続きを取るか、通常の会員身分に復帰させなければならない。

#### 第14条 地域社会、国家、および国際問題

第1節 適切な主題。地域社会、国家および世界の福祉にかかわる公共問題は、クラブ会合における公正かつ理解を深める討議の対象として適切な主題である。しかしながら、クラブは、いかなる係争中の公共問題についても意見を表明しないものとする。

第2節 支持の禁止。本クラブは、公職に対するいかなる候補者も支持または推薦しないものとする。またいかなるクラブ会合においても、いかなる候補者の長所または短所を討議しないものとする。

第3節 政治的主題の禁止。(a)決議および見解。本クラブは、政治的性質をもった世界問題または国際政策に関して、決議ないし見解を採択したり配布したりしないものとする。またこれに関して行動を起こさないものとする。(b)歎願。本クラブは、政治的性質をもった特定の国際問題の解決のために、クラブ、国民、政府に対して歎願しないものとする。また、書状、演説、提案を配布しないものとする。

第4節 ロータリーの発祥を記念して。ロータリーの創立記念日、2月23日の週は、世界理解と平和週間である。この1週間、本クラブはロータリーの奉仕を祝い、これまでの業績を振り返り、地域社会と世界中で平和、理解、親善のためのプログラムに重点を置く。

#### 第15条 ロータリーの雑誌

第1節 購読義務 RI細則に従って、本クラブがRI理事会によって、本条規定の適用を免除されていない場合、各会員は、会員身分を保持する限りRIの機関雑誌またはRI理事会から本クラブに対して承認ならびに指定されているロータリー地域雑誌を購読しなければならない。同じ住所に住む二人のロータリアンには、機関雑誌または理事会が承認し、そのクラブに指定したロータリー雑誌を合同で購読する選択肢がある。購読は、本クラブの会員となっている限り継続し、購読料は理事会が

決定した人頭分担金の支払い日に支払われるものとする。

第2節 購読料。購読料はクラブがその前払金を各会員から徴収し、RIの事務局またはRI理事会の指定によって購読することとなった地域雑誌の発行所に送金しなければならない。

#### 第16条 ロータリーの目的の受諾と定款・細則の順守

会員は、会費を支払うことによって、ロータリーの目的の中に示されたロータリーの原則を受諾し、本クラブの定款・細則に従い、その規定を順守し、これに拘束されることを受諾するものとする。そしてこれらの条件の下においてのみ、会員は、本クラブの特典を受けることができる。各会員は、定款・細則の文書を受け取ったかどうかにかかわらず、定款・細則の条項に従うものとする。

#### 第17条 仲裁および調停

第1節 意見の相反。理事会の決定に関すること以外で、現会員または元会員と本クラブ、クラブ役員、または理事会との間に意見の食い違いが起これり、このような場合のために規定されている手続きによってはどうしても解決できない場合、その問題は、論争当事者のいずれかが幹事に要請し、調停によって裁定を行うか仲裁によって解決を図るものとする。

第2節 調停または仲裁の期限。調停または仲裁の場合、理事会は論争当事者と協議して、調停または仲裁の要請を受理してから21日以内に行われるよう、調停または仲裁の日取りを決定しなければならない。

第3節 調停。このような調停の手続きは、国もしくは州に対し管轄権を有する関係当局によって認められたものであるか、または代替えの争議の解決方法を含む専門知識に定評のある優れた専門職団体によって推薦されたものであるか、またはRI理事会もしくはロータリー財団管理委員会が定めた指針文書によって勧められるものとする。調停人にはロータリークラブの会員のみを指定することができる。クラブは、適切な調停技能と経験を有するロータリークラブの会員を任命するよう地区ガバナーもしくはガバナーの代理人に要請することができる。

- (a) 調停の結果。調停によって当事者同士が合意に達した結果もしくは決定は、記録されるものとし、各当事者ならびに調停人がその記録をそれぞれ保管するものとする。さらに、理事会にも記録を1部提出し、幹事がそれを保管するものとする。クラブへの報告のために、当事者が承諾できる結果の要約文を作成するものとする。当事者の一方が調停内容を十分に履行しなかった場合、もう一方は会長または幹事を通じて、さらに調停を要請することができる。
- (b) 調停の失敗。調停を要求したが、調停が失敗した場合、論争当事者は本条の第1節に定める仲裁に訴えることができる。

第4節 仲裁。仲裁が要求された場合、両当事者はそれぞれ1名の仲裁人を指定し、両仲裁人は1名の裁定人を指定しなければならない。

第5節 仲裁人または裁定人の決定。もし仲裁が要求され、仲裁人によって下された決定もしくは両仲裁人が合意に達しえなかった場合、裁定人による決定が最終であって、当事者すべてに拘束力のあるものとなり、提訴することはできない。

## 第18条 細則

本クラブは、R Iの定款・細則、R Iによって管理上の地域単位が認められている場合には、その手続き規則、および本定款と矛盾しない細則を採用しなければならない。細則は、本クラブの管理のために、さらに追加規定を設けるものとする。細則は、その規定に従い改正することができる。

## 第19条 改正

第1節 改正の方法。本条第2節に規定されている場合を除き、本定款は、規定審議会によってのみ改正できる。その方式については、R I細則の改正について同細則で定めているものと同じとする。

第2節 第2条と第4条の改正。定款の第2条(名称)および第4条(クラブの所在地域)は、定足数を満たした数の会員が出席した本クラブの例会においていつでも、出席している全投票会員の最低3分の2の賛成投票によって、改正することができる。ただし、当該改正案の通告が、これを議する例会の少なくとも10日前に、各会員およびガバナーに郵送されなければならない。そしてさらに、かかる改正は、RI理事会に提出してその承認を求めなければならない。その承認があってはじめてその改正は効力を発するものとする。ガバナーは、提出された改正案に関してRI理事会に意見を提供することができる。